

世界史の

偏差値 50 を 60  
にするための

ロードマップ

## 著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。本冊子の著作権は、発行者にあります。本冊子の使用用に関しましては、以下の点にご注意ください。

## 使用許諾契約書

本契約は、本冊子入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

## 第1条 本契約の目的

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

## 第2条 禁止事項

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講

演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

### 第3条 損害賠償

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金金が発生する場合がございますのでご注意ください。

### 第4条 契約の解除

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用用許諾諾契約書を解除することができるものとします。

### 第5条 責任の範囲

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても 一切の責任を負いません。

はじめに

一章 このレポートで手に入るもの

二章 世界史の重要すぎる考え方

三章 あなたの偏差値を 50 から 60 にするためのロードマップ

最後に

はじめに

想像してみてください  
下さい。

どうやっても覚えられなかつた

世界史の用語が易々と暗記でき、

努力以上の

**圧倒的な**

**成績**を残し、

**「合格」**

と記された

**第一志望大学の**

**合格証明書を！**

これはあなたのストーリー  
です。

寢室に朝日が差し込み、あなたは目を覚まします。

う~んと、ゆっくり伸びをして眠気を覚まし、窓から差し込む光を見て、1日の始まりを実感します。



あなたはそのまま勉強机に向かい、昨日勉強した内容をチェックします。ぐっすり眠ったので、頭が冴え渡り、昨日覚えた内容がスラスラと思い出せてきます。

一問正解するごとのあなたはニヤつき、知識が脳みそにストックされていく感覚にあなたは夢中になります。

あれだけ右から左だった知識が、きちんと脳みその中にあるクローゼットに収納されていくのですから、それが楽しくない訳がありません。

復習を終えると、丁度リビングから食パンの焼けた良い匂いがしてきます。こんがり焼けていることでしょう。お母さんはそこにジヨリジヨリと風味豊かなバターを塗っています。



家族に「おはよう」と言い、今日学校で予定されていることを交えて、  
家族と楽しく雑談を交わします。

太陽が昇ってきて明るくなったリビングで、暖かい雰囲気の中、あなたは美味しい朝食を食べます。

さっきほどの復習内容を考えながら、今日勉強していくことを頭の中で確認し、1日でどれだけの知識を吸収できるかを想像して、あなたはわくわくします。

通学中はライバル達がスマホでコミュニケーションをとったり、あほらしい Twitter の投稿をリツイートしたり、パズドラに興じている間、彼らを横目に、パパッと覚えるべき事を覚えていきます。



暗記していてもまったく覚えられなかった状態が嘘のように、まるで魔法でもかかったかのように、あなたはガツガツと知識を吸収していくのです。

学校の授業中も、みんなが夢の中で走り回っている間、あなたは 50 分の授業内容以上の成果を生み出せるような工夫をし、すべての時間を無駄にしません。

世界史で結果が出ているので、英語や数学に他の人よりも時間を割くことができます。

ランチタイムは友達と問題の出し合いをしながら、楽しい時間を過ごします。

家に帰ると、To-do リストを消化しながら着実に勉強していきます。

今勉強していることが結果に結びつくことを知っているあなたは、悩むことなく驚異の集中力で勉強に没頭します。

気づくと既に夜ご飯の時間で、急いであなたはリビングに向かい、ほかほかのご飯を頬張り、味の濃いおかずとのハーモニーを楽しみます。



夕食を終えて、風呂の時間までもうひと頑張り。あなたはミント味のガムをシャリッと噛み、鼻から抜けるミントの香りを楽しみながら、ラストスパートをかけます。

あなたはギリギリで To-do リストを消化し、笑顔で「終わった～」と呟きます。その達成感に包まれながら風呂に向かい、湯船の中で暗記事項をサクッと確認します。



風呂から出たあなたはまだ温かい身体を冷ましながら、じっくりとストレッチをし、1日頑張った身体をいたわります。

次の日の To-Do リストを作成し、軽く日記を書いて今日できたことを振り返ります。

## 「今日はこんなにできた」

そんな満足感を感じながら、着実に前に進んでいることを確認します。最高の気分です。

ライバル達が夜にどれだけ勉強できるかで競っている間、あなたは—足早くベッドに向かい、志望校に合格したその日を想像しながら。眠りに落ちていきます。



周りから見たあなたは、どの知識も取りこぼすこともなく、努力以上の成果を出している優秀者です。

あなたを「**天才**」と呼ぶ人もいるでしょう。

しかし、最初からそういうわけではありませんでした。

先生から「無理だ」と断言され、絶望し

友達からバカにされ、唇をかみ

成績の話題を避け



成績が上げられない自分が嫌いで

要領が悪く、計画すら満足にこなせず、

親にやつあたりし、



どうすればいいのか途方に暮れて、勉強を投げ出し

やる気すら起こらず、勉強せずに夜を迎え、

順調に成績を伸ばしている友達が羨ましくて悶々とし



成績が上がらないせいで、自信が微塵もなくなり

成績が上がらず、苦しくて、一人で泣いていた受験生でした。



しかしあなたはあることをしただけで、羨まれるような受験生に進化したのです。

試験日は、誰よりも楽しく問題を解き、確かな手応えを感じながら試験会場をあとにします。

そして、**合格発表**当日。

目を剥き出しにして、自分の番号を探します。

上から順に番号を追い、自分の番号に目がとまります。

# え？

一度目を疑います。



自分の番号をもう一度確認しその番号と比べて、**自分が合格したこと**  
**を知ります。**

笑顔とガッツポーズが止まらず、さらには涙が溢れてきそうです



これまでの努力が、ついに身を結んだ充実感に 頭先从から足の先まで、電撃がほとばしるでしょう。全身が震えるような達成感が、胸の内から溢れてきます。

これまでの苦しさや、辛さが、はるか過去、遠い昔の事だったかのよ  
うに 全てから解き放たれた満足感があなたを包み込みます。



「あの時は苦しかったな」

「耐えて頑張っって本当に良かったな」

そう思いながら、思いつく限りの人達に、合格報告と感謝のメッセージを送ります。



もう一度言いますがこれはあなたのストーリーです。

この世には、勉強法を知らず苦しむ人がたくさんいます。私もその一人  
でした。

どんなに勉強しても、学んだことが右から左。



shutterstock.com • 272306936

世界史の流れをつかめとかっていうけれど、世界史の流れなんかどう  
やって掴めば良いか分からない。

私はずっと思い悩んでいました。

私は高1の頃から京大志望で、部活に打ち込みつつも、勉学に励んでいました。

勉強しない日はなく、遊んでいる同級生を横目に見ながら、自分だけ勉強していました。

色々なノウハウを試し、苦しむように勉強しました。頑張れば成績は上がる。そう信じて勉強しました。

しかし、……

私の成績はどれだけ勉強しても一向に上がりませんでした。現実は残酷でした。

授業中にパズドラをやっているような男子の成績はぐんぐん上がっていきました。

もやもやと悩みを抱えたまま、私は3年生になり、部活を引退しました。

週 6 で練習のあった部活がなくなれば、勉強時間も増えて成績も上がるだろう。

私は「偏差値が上がり、京大に合格する」という未来を想像して、わくわくしました。

勉強時間が増えても、成績はあがりませんでした。いよいよ私は自信がなくなりました。勉強するたびにモヤモヤしました。

「私には無理かも」

「京大なんか夢のまた夢」

「大学落ちて、学歴フィルターかけられて、下請け会社で定年まで働くような惨めな人生送っていくのかな...」

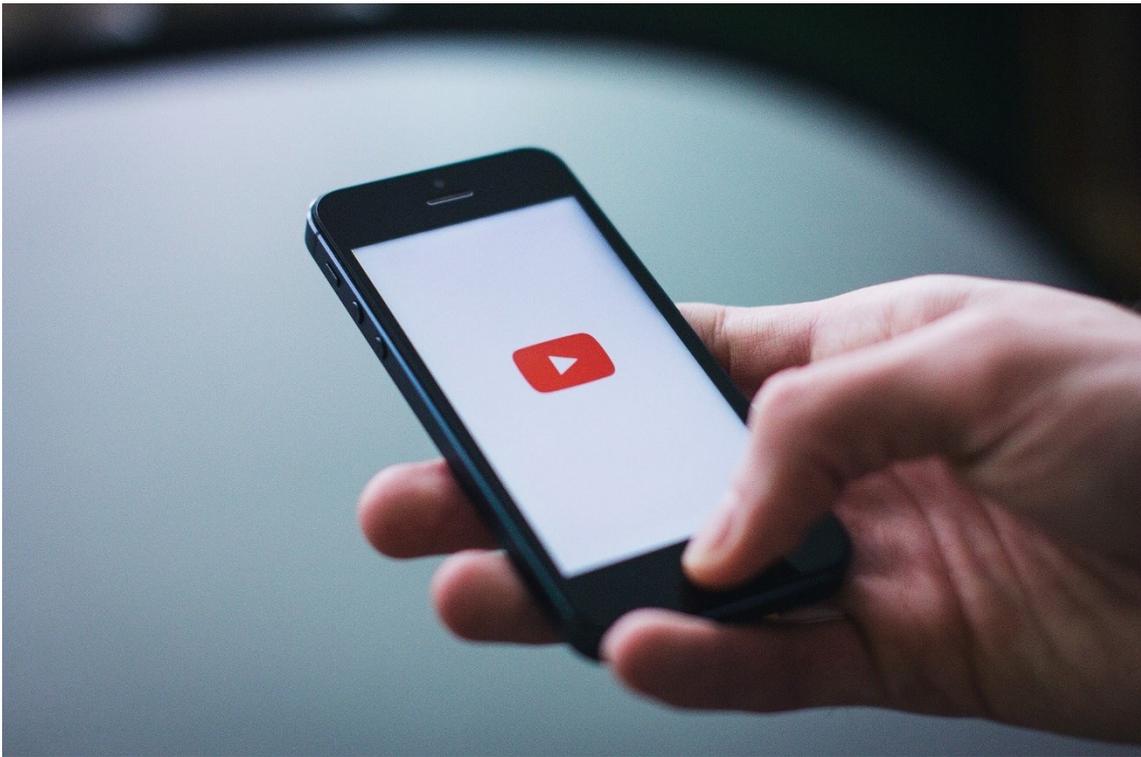
暗い未来ばかり想像し、どんどんやる気を無くしていきました。その状態のまま受験の天王山である夏休みに突入し、解決することも無く終わってしまいました。

成績があがらない恐怖と惨めな未来の不安しか私にはありませんでした。



shutterstock.com • 1432128161

そんな私に救世主が現れます。9月のある土曜日のことでした。模試の結果が帰ってきて、落胆しながら、模試の復習方法を Youtube で調べているときでした。



しかし、自暴自棄になり、自分の部屋で、youtube を回遊していた時にある動画に出会います。この動画の視聴が転機となりました。

内容は偏差値を順調に伸ばせている人にとっては、当たり前なことでした。しかし、私には新鮮な情報でした。私の中にあった見当違いな公式が、ぶっ壊れました。

そこで、今までにやっていた勉強を振り返ってみました。

## そら成績上がらんわ

今までの勉強は勉強もどきだったのです。

それから、徹底的に勉強法の見直しを図りました。そして、これまでに買った情報商材をデータの山から引っ張りだし、読み直し、自分なりの合格戦術を作ります。

また、勉強法の他にも、生活習慣、集中力について調べ、自分にあったものを見つけます。

今までやっていたことが、ほとんど無駄だったことが分かり、後悔も大きかったのですが、これからやるべきことが分かったことによって、ぱーっと道が開けてきた感覚でした。

これならいけそう！



マーク模試、記述模試、京大模試まで怒濤の模試ラッシュまであと1ヶ月。だらだらしてられない。よし、もう一度頑張ってみよう。

それから1ヶ月。一番出来がひどかった世界史を重点的にアウトプット中心の勉強を進めました。

すると秋の模試で世界史は **マーク 9 割** 達成！

**記述偏差値 65!**



ひゃっほう

8割前後をうろちょろしていたマークと、前回ボロボロだった記述のこの成果は私にとっては快挙でした。**爆発的**に偏差値が上がったのです。

試験中に問題がすらすら解けた感覚は今でも忘れません。試験中ニヤニヤしていました。一番出来の悪かった世界史は、いつのまにか得意科目になっていました。



世界史の勉強が最も楽しくなっていたんです。

私は第一志望に合格することはできませんでしたが、立命館大学、同志社大学、関西大学など受けた私大には全部合格しました。

しかし、やはり心残りがあります。

もっと頑張れたらろう、**もっと効率的にできた**らう、**もっと早く気づいた**か**った**と思います。しかし結果は結果。受け入れて前に進むしかありません。

そして

**「もっとはやく知っていれば...」**

と。

効率のいい「**やり方**」を知らなければ、圧倒的な時間を無駄にするので  
す。

でも裏を返せば、私みたいな要領の悪い人間でも、才能の無い人間でも、効率のいい「やり方」さえ知っていれば成績は上がるのです。

私のように時間を無駄にして欲しくないし、苦勞するのは私だけで十分です。

つまり、

**一人で頑張っても限界がある**

ってこと。

時には、人の手を借りた方が大きな成果が得られます。



shutterstock.com • 1132114712

このレポートにたどり着いてくれたあなたには、きつとなにかの縁です。

だから、私の世界史の偏差値を 10 上げた知識を使って、偏差値 50 から 60 に跳ね上げるためのロードマップを公開しようと思います。

このレポートに書いてあることを実践すると、こんなことが起こります。

- 世界史の偏差値を偏差値 **50 から 60** にするための道筋が分かる
- **上位国公立大学、MARCH、関関同立**を目指すことに自身を持てる
- 「**何が出来ないか分からない**」状態から抜け出せる
- **世界史の勉強方法で悩まなくなる**



shutterstock.com • 1075401785

このレポートは、世界史の偏差値 50 前後で、「何が出来ないか分からない」状態の人達が、

「世界史が得意になる、または共通テストで 8 割以上をとる」、

「志望校(上位国公立、関関同立、MARCHレベル)に合格する」

ためにどうすればいいか、という道筋を示していきます。

成績が上がらない 効率が悪い 結果に結びつかない。そんな悩みとは今日でおさらばしましょう。

## 二章 世界史の勉強で重要すぎる考え方

ロードマップを紹介する前に、すごく重要なお話をしなければなりません。

正直これを知らなければ、ロードマップを理解できないし、

**ナビゲーター世界史**を 100 回読んだって、現実が変わることはありません。

努力するのはとてもいいことです。しかし、方向性を間違えるとすべてが**徒労に終わります**。

授業中にゲームやってるのに、成績良いヤツに勝ちたくないですか？

努力のすべてを、結果に結びつけたくないですか？

**無駄な努力なく、成績を伸ばせたら良いですね。**

では早速考え方を紹介していきます。

そんな重要な考え方とは、「木の幹勉強法」「枝葉勉強法」という考え方  
です。



# は？

って感じですね。ご安心下さい。丁寧に説明します。

あなたの成績があがらないのは、[この枝葉勉強法](#)をやっているからなんです。

ほとんどの受験生は、[枝葉勉強法](#)に逃げているのが現実です。

では、具体的にどんな勉強か、というと、

「やみくもに暗記する」

「とりあえず年号を覚える」

「焦ってヨコの歴史を学び始める」

「とりあえず教科書を音読する」

当てはまるものはないですか？

ドキッとした方、要注意ですね。

一方、木の幹勉強法は、根幹を掴むような勉強法です。こちらは、世界史が得意な人の勉強法であり、さらに言えば勉強が出来る人の思考法です。

例えば、数学で言う公式であり、化学で言う解法ですね。

では、世界史で言う木の幹はなんなの？というと

**ストーリー**です。

こういう出来事が、こういう原因で起きて、その後こうなった。それで、この出来事につながっていった、という話の流れですよ。

世界史のストーリーを語れる力がつくと、

出来事の並び替え問題で悩まなくなる

論述問題が解けるようになる

年号をやみくもに覚えなくて良くなる

などなど、良いことがたくさんあります。

枝葉勉強法だと、特に論述問題には太刀打ちできないことが分かりますよ。

しかも、枝葉勉強法は、時間がかかりまくるのに、**ちょびっとだけしか偏差値はあがりません。**

一方、木の幹勉強法は、最初は時間がかかっても、勉強すればするほど、ストーリーがつかめてくるため、ぐんぐんと成績が上がっていきま  
す。

私の偏差値が 55 から 65 に上がったのは、この勉強法を使ったから  
なのです。

では、どのようにこの幹を育てていくか

必要なことは 2 つだけです。

- ・ストーリーをつかむ

- ・覚える

これだけです。

覚えるという作業は、よく暗記ともいわれますが、木を育てる上での「水」のような存在です。



例えば、ストーリーをインプットして、そのまま話の筋を忘れてしまうと言う人は、暗記をしていない状態です。

つまり、苗だけ植えて、水をあげずに枯れさせてしまっている状態なんですよ。

このように多くの人は、**どちらかだけやるか**、枝葉勉強法のところで紹介したような、100 やって 1 の成果しかでないような勉強をしています。

- ・ストーリーをつかむ

- ・覚える

この**木の幹勉強法**を頭に入れておきましょう。

### 3章 あなたの偏差値を50から60にするためのロードマップ

ここからは、あなたの偏差値を50から60にするまでのロードマップを示していきます。

ワークもありますので、紙に書いたり、スマホにメモしたりして、読み進めていって下さい！では、いきます。

#### STEP1 現状を知る

まずは、あなたの世界史の成績を把握する必要があります。

過去のテストや模試、過去問を解いた結果などを見直してみましょう。

なぜ、これをしなければならないか、というと、

まあまあ勉強しているけど、いざとなると用語思い出せない人と、

用語はかなり覚えれているけど、論述や並び替え、同年代史で詰まる人では、

「ストーリーを掴む」と「暗記」、どちらに力点を置くかが違って来るからです。

もちろん、どちらもやらなければなりません、足りない方から優先的にやった方が効率がいいのです。

だから、自分の今の世界史の状態をチェックします。

また、自分の苦手な分野や、「カタカナは間違えて覚えがち」など、実力を把握しておく、後で役立ちます。

## STEP2 ゴールを知る

偏差値 60 にするまでのロードマップですが、偏差値 60 というのは、上位国公立や、MARCH、関関同立が狙えるレベルで、共通テストは 8 割を超えるレベルです。

まずは、そのレベルを目指していきましょう。

### STEP3 枝葉勉強法で勉強するのを辞める

あなたが今まで枝葉勉強法をしていたのならば、改める必要があります。

ここでワークです。これまでにやっていた勉強法を書き出してみてください。

そうして、先ほど解説した「木の幹勉強法」からどれくらいズれているか、自己分析してみてください。

#### STEP4 木の幹勉強法でひたすら勉強する

「木の幹勉強法」覚えていますか？

そうです。やるべきことは、

- ・ストーリーを掴む
- ・覚える

だけです。

これをひたすらに続けていきます。

これだけでいいの？

そう思うかも知れません。でも、世の中の真理って、驚くくらいシンプルなんですよ。

世の中が複雑なのは、人間が勝手に複雑に見ているからなんです。

あなたの安心材料として、実際に成績が上がった事例を紹介します。

高3のHさんは私が数ヶ月ほど指導させていただいた方ですが、こ

の2つだけをやリ、**54→62**に飛躍しました。

また、高2のT君は、定期テストにこの勉強法を用いたところ、初回のテストで93点という好成績でした。

私自身もこの勉強法で65まで上がり、センター試験は91点をマークしました。

ワクワクしてきました？

では、試しにやってみましょう。

## STEP5 高みを目指して

先ほど紹介した H さんのように、偏差値 60 を突破したら、この木の幹勉強法に、枝葉を付け加えていきます。

つまり、足りないところを補うようにストーリーの勉強をしながら、年号や、同年代史、論述問題の練習など、その人にとって必要なものを付け加えていくのです。

付け加えていけば行くほど、あなたの成績は上がって行きます。高みを目指すのもありだし、他の教科に時間を使うのもアリです。

好きにやってみましょう。

ちなみにHさんは、早稲田大学を目指すようです。彼女なら行けるでしょう。

ここまでが基本的な、偏差値を 50 から 60 にするためのロードマップです。

世界史の勉強は意外とシンプルってことが分かったと思います。

## 最後に

怪しいブログの、ケイトという怪しいヤツから受け取った、怪しいレポート。

詐欺じゃねえかと思ったかも知れません。

でも、本質を押さえた**まとも**なものだったでしょ(笑)

あなたは小手先のテクニックではなく、考え方をすることで、他の受験生よりも、**一歩も二歩も先に行けます。**

また、このメルマガに登録した人には、最短距離で成績アップをしてもらいます。合格まで、歩くのではなく、電車に乗るでもなく、新幹線に乗ってもらいます。

新幹線では「時間」と「体力」を節約できます。

実際移動するときもそうですよね。

愛知から京都まで歩いてくる人はいません。新幹線に乗れば、体力もほとんど使わなければ、バスや電車みたいに腰が痛くなることはありません。しかも、40分ぐらいでつきます。

あなたには、「**最短ルート**」を歩んでもらいます。

最後の最後に！

簡単なアンケートに答えて私に送って下さい。

アンケートに答える！ ↓

<https://forms.gle/3iZehXyP751cnLtP6>

アウトプットしてくれたら、**世界史の用語語呂合わせ集**をプレゼントいたします！

明日からは、世界史の勉強に関するメルマガを配信していきます。成績にアップには欠かせないので毎日必ず読んで下さいね。

それでは最後まで読んでいただきありがとうございました！